栄村議会報

第203号

●発行／栄村議会　●責任者／上倉敏夫　●編集／議会報編集委員会

内　容：○主な可決案件　○令和４年度予算推移　○一般質問９名

令和４年６月定例議会　主な可決案件

案　件　名	内　　容
◆令和４年度　栄村一般会計補正予算（第３号）	・新型コロナウイルス感染症重症化防止のため、60歳以上の方、または基礎疾患のある方などで、３回目の接種から５か月以上経過した方対象の４回目のワクチン接種費用：5,081千円や、商工観光事業者経営支援と地域活性化及び村民生活支援の商品券とそれに係る経費：20,604千円などの新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金 ・百合居地区堤防工事に伴う水道管敷設工事費など：3,230千円など **・補正額：59,241千円**
◆令和４年度　栄村ケーブルテレビ特別会計補正予算（第１号）	・新百合居橋架け替え工事の橋梁部分に通信ケーブルを共架するための設計業務委託料 **・補正額：2,145千円**
◆令和４年度　栄村簡易水道事業会計補正予算（第１号）	・箕作、月岡間の堤防工事に伴う水道管の敷設替え工事や、村民住宅の新築、一般住宅の新築に伴う新規水道管の敷設工事費 **・補正額：26,830千円**
◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・雇用されて１年に満たない会計年度任用職員は、今まで育児休業を取得することが出来なかったが、雇用された初年度においても取得することが出来るように改正。また妊娠または出産等について、不利益な取り扱いを受けることが無いようにすること。更に、勤務環境の整備についても承認の請求が円滑に行われるように改正するもの
◆財産の取得について （除雪ドーザ）	・村道等の除排雪のため、除雪ドーザ14ｔ級１台 ・相手方：株式会社 前田製作所　飯山営業所 **・取得額：20,570千円**
◆栄村監査委員の選任について	・山本邦雄氏（野田沢）任期満了のため ・山田　功氏（小赤沢） ・任期：令和４年６月15日～令和８年６月14日
―追加議案― ◆財産の取得（ロータリー除雪機）	・雪害救助世帯等の除排雪のため ・35馬力級１台・31馬力級２台 ・相手方：北信自動車 **・取得額：8,778千円**

◆令和４年度　栄村予算推移◆

単位：千円

区　分	当初予算	４月補正	６月補正	予算総額	増減額	増減率%	構成比
一般会計	2,895,000	73,447	59,241	**3,027,688**	132,688	104.58	
特別会計							
国民健康保険（事業勘定）	227,545			**227,545**	0	100.00	24.0%
国民健康保険（施設勘定）	122,527	4,400		**126,927**	4,400	103.59	13.4%
秋山診療所	3,919			**3,919**	0	100.00	0.4%
後期高齢者医療	30,466			**30,466**	0	100.00	3.2%
介護保険	406,979			**406,979**	0	100.00	42.9%
介護サービス	7,869			**7,869**	0	100.00	0.8%
スキー場	112,414			**112,414**	0	100.00	11.9%
ケーブルテレビ	30,275		2,145	**32,420**	2,145	107.09	3.4%
特別会計合計	941,994			**948,539**	6,545	100.69	
公営企業会計							
簡易水道事業	110,522		26,830	**137,352**	26,830	124.28	
下水道事業	16,677			**16,677**	0	100.00	
公営企業会計合計	127,199			**154,029**	26,830	121.09	

6月定例会　一般質問

松尾　眞議員

総合振興計画の重要なポイントは何か。課・係を横断する取り組みの進展は。

村長　**栄村の持続、人口構成の中身に踏み込み、計画の軸にすえた。縦割り脱却を懸命に追及。**

総合振興計画と事業計画について

松尾　総合振興計画の重要なポイントは何か。審議会では「課や係をまたいで取り組む横断的な議論」の重要性が指摘されたが、実際に出来ているか。

村長　栄村が直面する問題として、人口減少にスポットを当て、栄村をどう持続させていけばよいか、人口構成の中身等に今までより一歩進んで計画の軸としたことが重要なポイント。

課、係を超える対応力、実践力が非常に必要になってきている。縦割りだけではない、横への動き、縦割りからの脱却を一生懸命追求しているところである。

松尾　今、村の若手から村の中堅をなす層、「この人の考えをちょっと聞きたい」、「こういう人と議論したい」と思うと、大半が役場の職員である。若い職員が一住民、一役場職員としてもっと議論を活性化させていくということが非常に重要ではないか。

村長　結婚問題一つとっても、なかなか表立って公式にやると難しい。課長とか、係長とか、役場の職員とか、そういったところを超えてざっくばらんに話が出来る、そういったことを設定しなければいけない。

松尾　若者定住が総合振興計画の柱である。この2年、予想を超える実績が実現されている。また、村のホームページ、2、3年前とはガラッと変わっている。移住で栄村に来て暮らしている、小さなお子さんがおられる家族の様子も動画で見られるとか、随分変わっている。しかし、移住の事はHPのどの辺にありますか。下の方ですね。最初に画面を開いた時に見えない。これは是非改善をしていただきたい。

建設課長　総務課の担当係長とも相談させてもらって、「ちょっと目立つように出来ないか」という話を始めたところなので、もうちょっと目立つように工夫したいと考えている。

保坂眞一議員

森林環境譲与税の配分基準の見直しを

村　長　長野県町村会として国に強く要望している。

森林環境譲与税による森林整備について

質問　栄村は、村の面積の93％を森林原野が占めている。森林の有する多面的機能は、水源の保全や土砂災害防止など国土や国民の生命を守ることに繋がる。森林譲与税は、喫緊の課題である森林整備に対応するため、令和元年度から配分が開始され、今年度予算では、１，４００万円が見込まれている。ただし、譲与税の配分基準は、人工林面積、林業従事者数に加え、人口も換算され、都市部が優遇されている。本村のような人口が少なく、森林面積の多い所に多く配分されるよう基準見直しを国に強く要望すべきと考える。又、里山整備の遅れから、野生鳥獣による被害も拡大しており、里山も含めた森林整備をどのように進めて行くか伺う。

村長　森林譲与税は、里山の実態を十分に踏まえて、森林の多様な利用と活用、ライフラインの確保においても貴重な財源だと捉えている。譲与基準については、国においても検討され、農山村の実態を議論の中で理解するよう期待している。山村が、森林機能を発揮できるよう植栽、育成、伐採など柔軟に活用できる財政支援の拡充について県町村会として強く要望している。今後の森林整備については、過日、北信地域戦略会議が県知事を交えて開催され、都市ではできない森林整備の形で、里山を守り、地球環境を守り、鳥獣被害にも対応している取り組み姿勢を長野県としてクローズアップすべきと意見した。

ライフライン（支障木伐採）確保対策事業について

質問　譲与税活用による本事業は本年の大雪時においても停電することなく事業効果が確認できた。今後の計画について伺う。

総務課長　本事業は、森林所有者の皆さんに全面的に協力いただいている事業であり、長野県、中部電力、森林所有者の皆様と村が一体となって住民の安心・安全を守る施策を進めて行きたい。

相澤博文議員

豪雪対策本部の設置について、条例の見直しは。

村　長　その年の状況を見ながら最善の取り組みを目指していきたい。

豪雪対策について

質問　大雪の今年「村は豪雪対策本部を作ったのか」という声を聞いた。雪の量と共に不安が増加する。３日間の降雪量が３・５メートルを超えた場合、または積雪量が３・５メートルを超えて、なお降雪が続く予報が出された場合という条件に満たなくて豪雪本部の設置が出来なかった。被害の恐れが生じた場合、森観測所の数値を基本に判断している。しかし、今年は秋山地区の方が多い記録が出た。気候変動が叫ばれる中、心の不安を抑えるにも基準の数値は、白鳥、秋山、森地区の平均が好ましいと考える。条例の見直しは。また、森観測所の数値は、岳北消防栄分署の自主的な計測数値である。これはどういうことか。

村長　豪雪対策本部の設置は、観測場所、連続降雪期間、観測数値だけに拘っているわけではなくて、平年に比べて短期間でも異常な降雪・積雪があって、住居の崩壊や危険性が増大した場合は豪雪対策要綱の適用で本部を設置する。また、基準の数値を超えたとしても気象予報によって今後の天候回復の見込みがあれば数値を超えていても本部を設置しない場合もある。秋山地域が千曲川沿線よりも積雪が多くなったことは、かつてあまり無かったことであり、気候変動の現れが続くとは分からないが、今後は雪の降り方について注視して、豪雪対策本部の設置については、その年の状況を見ながら最善の取り組みを目指していきたい。

総務課長　毎朝、消防署の方が、積雪・降雪を記録したデータを森観測所のデータとしてそのまま役場の数値ということでカウントさせていただいている。積雪で３・５メートルを超えた日は、白鳥で３日間、役場で２日間、小赤沢では14日間あった。その時は降雪量が落ち着いていたので対策本部設置には至らなかった。秋山地域においては、当初の計画に入れてなかった高齢者の方の雪下ろし作業を途中追加し、雪害対策救助員に作業を行っていただいた。

島田伯昭議員

東部地区活性策を求める。

村　長

地域資源を活用し、村全体の活力に繋がってほしい。

東部地域活性策を求める

質問　旧宝山荘前道路拡張整備が今年度完成する。道路整備と共に東部地域の活性振興策について、その後、具体的議論、政策、施策がどのようになっているのか。また、この先臨むべきことは、東部地区の活性化を図ることによって、念願である五宝木、極野間の通年通行への道路整備に拍車がかかることを願い、東部地域の地域おこしへの村の計画を伺う。

村長　新潟県境の旧宝山荘付近の道路整備の完成が間近なことは大変嬉しい限りだ。生活道路の機能アップ、災害に強い道路網整備においても一歩進んだと認識している。また観光面においても村のイメージアップに繋がると思う。具体的には、基幹的道路整備や北野温泉の整備を進めることで村の地域資源を活用し、村全体の活力に繋がってほしい。また鳥甲線については、過去、開拓地整備事業ということで、県が主体となりこの事業に係り、思いの深い路線だ。観光的に良い位置だが諸条件による財政的に非常に厳しい。極野、五宝木に繋がる鳥甲線についても大きな課題として考えたい。

質問　北野自然公園の活用を教育的見地、観光的見地をミックスするような交流拠点としての思いがある中で、東部地区は自然植物や水生生物の環境によいと言われている。この北野自然公園の扱いについて教育的見地、観光的見地から答弁を求める。

教育長　東部地域は希少動植物が存在する植物園をはじめ「ジオサイト」としても北野天満宮のような歴史的な建造物など多数地域活性化に寄与できる場所が点在すると認識している。「教育委員会はサポート役である」という基本理念に則り、可能な範囲での整備、維持管理、学習会の開催などサポートしていきたいと思う。

商工観光課長　北野天満温泉の温泉棟の改修計画を進めている。コロナ終息を見据えて、サイクリング、キャンプ、アウトドア型の観光対策を考えている。

魚田清美議員

パブリックコメントについて。

村　長

様々な委員会・審議会があるが、それら全てがパブリックコメントの対象ではない。

パブリックコメント（意見公募）について

質問　栄村の行政には、様々な審議会・委員会がある。しかし、それらの課題、協議内容は良く分からない。

　パブリックコメントの問題点や課題は、行政主導になっているものが少なくない。実情に即した政策には、多様な住民の意見の把握による情報源の多元化（広聴）を図ることや、政策立案のプロセスを明らかにすること。特に現場に従事する方々や若い世代の意見やアイデアが重要となってくる。

　今後、委員や委員会の課題、協議内容をホームページや広報などで知らせていく必要があると思うが。

村長　様々な委員会、審議会があるが、それら全てがパブリックコメントの対象ではない。何のための審議会、委員会なのか、その目的は一様ではないが、議論、協議を経て、村民の民さんには公告式条例や広報等でお知らせしている。住民に周知すべきものと周知されなくとも役割が果たせるものがある。委員名については、関係課に問い合わせてもらえばお答えする。

質問　個別公共施設計画について、温泉施設に関しては、住民や関係機関の意見を聞きながら方向性を決めていくとのことだが、その進捗状況は。

村長　公共施設会議においては、厳しい財政事情の中で、長期的な視野の対処、これからの必要度合い等々により、取り壊し、譲渡、売却等も含めて色々な観点での協議があっていい。村の温泉施設も含めて多くの財産があるので、対象物件を絞って検討委員会で議論したうえで村として考えを整理し、議会の意見を伺い、協議をしながら今後の方向、あるべき姿を定めていく。

商工観光課長　検討委員会は、（6月15日現在）昨年11月以降開催されていない。地元住民や関係機関、公共施設等検討委員会の意見を聞きながら中小企業診断士の結果や栄村観光あり方研究委員会の結果等も勘案しながら方向性を定めていく。

保坂良徳議員

箕作・月岡堤防工事についての苦情や要望は何処で対応するのか。

村　長　**できる限り地域の皆さんへの情報提供に努めていく。**

教育長　**子どもに関しての心配事や苦情は、学校を通して教育委員会の方へ。**

箕作・月岡堤防工事の進捗と住民周知について

質問　月岡堤防工事はいよいよ本体工事に着手となったが、令和９年に完成予定で、６年間もの長期に渡る工事である。

　工事区間は住民にとって非常に重要な道路であり、小学生の通学路でもある。国に代わって県による代行工事だが、村として村民の安全を確保し、どのように周知していくのか。また、苦情や要望は何処で対応するのか。

村長　村としても積極的に関与し、工事の進め方、安全な工事、安全の確保等々、関係機関、県、施工業者と連携、調整、協議を深め、できる限り地域の皆さんへの情報提供に努めていく。

　子どもたちの通学や、お年寄りに関しても、一番安全に、この工事期間を乗り越えることができるか真剣に考えていきたい。

建設課長　工事が円滑に進むように、苦情やご意見を受け付ける窓口について、地域の皆さんに分かり易くしておくことが必要であり、県、施工業者、村で体制について協議していく。

教育長　工事期間中も、基本、児童は徒歩通学と考えている。児童の安全を第一に考えて、建設課、教育委員会で情報を共有して県と安全対策の徹底を図っていく。

　更に、保育園の散歩コースでもあり、調整が必要。安全防護柵や誘導員の人数、配置場所、トラックの経路や時間帯など、行程会議への要望の機会をつくって関係部局と打ち合わせをしていく。

　また、子どもに関しての心配事や苦情は、学校を通して教育委員会の方に持って来ていただきたい。

桑原武幸議員

今後の栄村の観光地としての取り組みは。

村　長　**一つ一つ整えていくことで全体の観光事業に繋がるような取り組みを進めていきたい。**

持続可能な村づくりについて

質問　新型コロナで観光客など栄村に訪れる方の足が遠のいて以来、温泉施設をはじめ商工観光は未だ厳しい状況である。「商工観光支援金」給付などもあるが、村内循環型のような給付金に頼るだけでなく、交付金終了後の村の観光をどのように取り戻していくのか今から考えていくべきではないか。収入源確保に向けた観光地のあり方について、村全体を観光地とした取り組みとして、雄川閣などの温泉施設や民宿、秋山郷の皆さんと秋山郷の魅力を発信し誘客に繋げるような施策を検討しているか。

①ＳＮＳ等、秋山郷を訪れた方が秋山郷の魅力を発信できるような取り組みや、コロナ禍でもニーズが高まっているキャンプに訪れる方が増えるような取り組みは。

②栄村秋山郷観光協会との連携は。

③北野温泉への道路工事も進むと思われるが、今後の栄村の観光地としての取り組みは。

村長　①本年度も引続き事業者の皆さんへの支援を講じていきたいと考えている。秋山郷ファンを大事にしながら、登山、キャンプ等の対応に工夫を凝らし、新たな発展に結びつけていくことも大事。

②観光協会には、村から補助金として多額な支援をしている。村との連携の中で、観光事業者の皆さんのためになる事業の発展に頑張っていただければと思う。

③北野温泉へ向かう道路の改良、東部地区の拠点でもある温泉施設の温泉棟を何とかしないといけないと思い予算の可決を認めていただいた。一つ一つ整えていくことで全体の観光事業に繋がるような取り組みを進めていきたい。

桑原　村民の皆さんにも「観光では今、こういった事業をしている」という周知や、その事業や計画に一緒に参加してもらい村全体で観光を盛り上げていければと考える。「収入がないから何もできない、しない」ということにならないよう、今から対策を講じていくべきと考える。

月岡利郎議員

スキー場駐車場をスケートボード等ができる場所として活用できないか。

村長　愛好者の皆さんが自主的に一歩踏み出してもらうことが大事。

若者が集まる村づくりについて

質問　栄村総合振興計画後期基本計画に「栄村が、栄村らしく持続していくには、一人でも多くの若者が村に住み、地域の活力となり、村民が将来、自信と誇りを持って暮らせる村を目指し、強力な対策が求められる。」と記載されているが、若者に栄村の魅力を感じてもらえるような施策を何か持っているのか。また、グリーンシーズンにおけるスキー場の利用方法について、広大な敷地と施設がある中で、若者が栄村に魅力を感じて集まってくる場所、若者がアウトドアスポーツを楽しむ場所として、駐車場をスケートボード等ができる場所として活用できないか。

村長　持続可能な村づくり、若者が栄村に魅力を感じて集まって来るような施策、グリーンシーズンにおけるスキー場の活用等、なかなか難しい。特別会計の予算でやろうとすると、やればやっただけお金が掛かってしまうというようなこともあって、スキー場特別会計というような取り組みではなく、村の観光事業の中の一環として取り組むべきものだろうと思っている。夏場におけるスケートボードの愛好者が村内にどのくらいいるのか。また近隣の状態は良く分からないが、その愛好者の皆さんが、まずは自主的に一歩踏み出してもらうことが大事だと思う。スキー場の駐車場の活用は、夏場の利用の観点から基本的に悪くない方向だと思っている。ただそこに色んな設備的なものを整備するとなると予算が伴うので直ちには難しい。若い皆さんが一生懸命動き出していくことが見えてくれば、皆さんの意見を聞きながら可能性を探っていくことは大いに結構だと思う。

さかえ倶楽部スキー場駐車場

山上宏晃議員

コロナ禍が栄村観光の変革のチャンスになるかもしれない。

村長　コロナ前よりコロナ後の方がチャンスメイク出来るのではないかと思っている。

ウェブサイトとSNSの広報活用について

質問　定住促進策、観光情報発信として、ウェブサイトとSNSを積極的に活用すべきと考えるが。また移住定住促進策の一つとして、地域おこし協力隊のPRと募集については。

村長　栄村の情報発信はホームページが中心。「どんな人にどういったことを伝えたいのか」ということを基本とした発信が大切だ。

建設課長　昨年8月に「長野県栄村で田舎暮らし」というホームページを開設した。これを中心に情報を発信したい。

商工観光課長　村ホームページでは村全体の情報発信を行い、イベントや宿泊施設など詳細情報については観光協会ホームページというように役割分担している。

総務課長　令和5年度にかけて村ホームページをリニューアル予定。地域おこし協力隊の募集について、募集要項と活動報告紙をホームページにあげている。

ポストコロナの栄村観光について

質問　コロナ禍が栄村観光の変革のチャンスになるかもしれない。コロナ禍終息に向け、今から準備をする必要がある。観光振興の方針について、コロナ前とコロナ後で質的な変化はあるか。暫く先と思うが、インバウンドの増大が予想されるが、村の考えは。

村長　自然環境を基軸とした山岳観光の推進、四季を通じた村の暮らしが栄村観光そのものだと思っている。普通の観光地とは違う個性をクローズアップすることが大事だ。コロナ前よりコロナ後の方がチャンスメイク出来るのではないかと思っている。

商工観光課長　栄村には新型コロナを忘れてゆっくりと自然を堪能できる環境があり、自然を活用した体験型観光を充実させていきたい。信越トレイル、サイクルツーリズムの推進により、インバウンドの来村が今後見込まれる。国籍や居住地に関わらず多くの方に訪れてもらえるよう取り組んでいく必要がある。